

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

767

地域防災事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	4	防災体制の充実
施策	2	災害に強い人づくりの推進
取組方針	2	地域防災力の強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		総合防災費	
	大事業		総合防災事業	
	中事業		地域防災事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 地域安全課 大河内 崇弘 435-1005
事業実施の根拠法令			関連課	

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の自主的な防災活動体制の確立のため、自主防災組織の防災活動などを支援する。</li> <li>・災害発生時、避難の妨げとならないよう、要支援者宅への家具固定金具の取付を支援する。</li> <li>・東海、東南海、南海3連動地震の想定日案者数88,300人の生命・身体の保護を目的に、必要最低限の物資を備蓄する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練等の防災活動を実施する自主防災組織に対して補助を行う。</li> <li>・大規模地震による津波から避難するため、高台への避難路を整備する自主防災組織に対して補助を行う。</li> <li>・65歳以上だけの世帯や高齢者等の体が不自由な方がおられる世帯を対象に、市が無料で取付作業員を派遣し、家具固定金具の取付を行う。</li> <li>・大規模災害時における避難者の生命・身体を保護するため、最低限必要な物資の備蓄を実施する。</li> </ul>			
事業内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士の資格取得、防災訓練、避難路整備等の防災活動を行う自主防災組織に対して補助を行う。</li> <li>・家具転倒防止用固定金具取付事業の実施。</li> <li>・感震ブレーカー設置補助を行う。</li> <li>・防災講座及び市民防災大学の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士の資格取得、防災訓練、避難路整備等の防災活動を行う自主防災組織に対して補助を行う。</li> <li>・家具転倒防止用固定金具取付事業、感震ブレーカー設置補助の実施。</li> <li>・食料、生活用品、資機材等の備蓄を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士の資格取得、防災訓練、避難路整備等の防災活動を行う自主防災組織に対して補助を行う。</li> <li>・家具転倒防止用固定金具取付事業等の実施</li> <li>・食料、生活用品、資機材等の備蓄を進め、消費期限のあるものや経年劣化するものは、有効活用を図りながら、順次入れ替えを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士の資格取得、防災訓練、避難路整備等の防災活動を行う自主防災組織に対して補助を行う。</li> <li>・家具転倒防止用固定金具取付事業等の実施</li> <li>・食料、生活用品、資機材等の備蓄を進め、消費期限のあるものや経年劣化するものは、有効活用を図りながら、順次入れ替えを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士の資格取得、防災訓練、避難路整備等の防災活動を行う自主防災組織に対して補助を行う。</li> <li>・家具転倒防止用固定金具取付事業等の実施</li> <li>・食料、生活用品、資機材等の備蓄を進め、消費期限のあるものや経年劣化するものは、有効活用を図りながら、順次入れ替えを行う。</li> </ul>

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	13,011	8,773	12,613	9,215	15,354	32,134	29,064	0	29,064	0
伸び率(%)	△10.3%	△16.4%	△3.1%	5%	21.7%	248.7%	89.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	47,136	44,110	40,647	43,362	39,190	41,659	44,501	0	0
	正規職員以外	636	2,081	1,744	1,102	1,725	1,090	6,017	0	0
	小計	47,772	46,191	42,391	44,464	40,915	42,749	50,518	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	22,440	784	0	0	0
県支出金	5,915	2,365	6,007	2,502	5,931	3,207	5,160	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3,200	0	2,000	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	7,096	3,208	6,606	4,713	9,423	6,487	23,120	0	29,064	0
所要人数(人)	正規職員	5.92	5.54	5.24	5.59	5.24	5.57	5.95	0.00	0.00
	正規職員以外	0.96	0.96	0.76	0.48	0.76	0.48	1.44	0.00	0.00
主な予算内訳	業務委託料 4,107千円、防災活動費補助金 7,130千円、防災対策支援補助金 1,000千円 他 令和3年度決算から大規模の備蓄事業費の一部が有									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
補助を行った自主防災会数	地区		目標値	42	42	42	42	
			実績値	16	20	22		
			達成度(%)	38.0%	47.6%	52.4%	%	
家具転倒防止用固定金具取付件数	件		目標値	230	230	230	155	
			実績値	47	89	76		
			達成度(%)	20.4%	38.6%	33.0%	%	
家具転倒防止用固定金具取付件数(平成24年度からの累計)	件		目標値	2500	2730	2960	3115	
			実績値	1298	1387	1463		
			達成度(%)	51.9%	50.8%	49.4%	%	
防災講座の参加者数	人		目標値	3500	3500	3500	3500	
			実績値	798	841	1229		
			達成度(%)	22.8%	24.0%	35.1%	%	

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	南海トラフ巨大地震等、いつ起こるか分からない災害に備え、家具の固定、感震ブレーカーの設置、避難路整備、資機材の充実を行うとともに防災講座を開催することで地域の防災力及び住民の防災知識の向上を図る必要がある。 東海・東南海・南海3連動地震の想定避難者数88,300人に基づき、最低限必要な物資を備蓄していく。
見直し・改善内容	更なる地域防災力の向上を図るため、防災士の育成や小学校、中学校等に防災教育に努める。